

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指標	総合	課題	今後の取組
誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進	多様な学びの実現	施設の利便性の向上	1-(1)-ア	図書館利便性向上事業	開館時間延長の継続、地域で手軽に図書館サービスを受けられる自動車図書館ステーションと返却ができるサービスポイントの増設等	中央図書館	<p>土日の開館時間を2時間延長と祝日の特別開館を継続して実施し、利用者の利便性向上を図った。また、市役所コミュニティ棟での予約本貸出サービスを開始した。火曜日から土曜日に自動車図書館車を使って巡回し、貸出及び返却等のサービスを行った。既存の2台の自動車図書館車両に加え、新たに1台を導入するとともに、新規ステーションや滞在時間の検討を行い、ステーションを50か所から54か所に増やしサービスの拡充を図った。</p> <p>並木・広岡・大穂・島名の各交流センター、市役所コミュニティ棟のブックポスト及びオンラインの4交流センターでの図書資料の返却ができる図書返却事業を継続し、利用者の利便性向上を図った。</p>	<p>土日の開館時間2時間延長と祝日の特別開館の継続および市庁舎コミュニティ棟における予約本の貸出しを継続し、利用者の利便性向上を図る。また、かとりだい交流館、研究学園小学校図書室でのサービスを開始し、サービスポイントの拡充を図る。火曜日から土曜日に自動車図書館車3台を使って、市内57か所のステーションで貸出及び返却等のサービスを行う。各ステーションは2週間に1回の頻度で巡回する。</p> <p>並木・広岡・大穂・島名の各交流センター、市役所コミュニティ棟のブックポスト及びオンラインの4交流センターでの図書資料の返却ができる図書返却事業を継続するとともに、新たにかとりだい交流館にブックポストを設置し、更なる利便性向上を図る。</p>	4,512千円	4,680千円					
							<p>年間開館日数280日 年間開館時間2,640時間 自動車図書館利用人数12,257人 自動車図書館貸出冊数43,141冊 返却窓口への返却冊数129,626冊</p>	<p>年間開館日数291日 年間開館時間2,743時間 自動車図書館利用人数14,000人 自動車図書館貸出冊数65,000冊 返却窓口への返却冊数170,000冊</p>							
			1-(1)-ア	市民交流施設利便性向上事業	誰でも気軽に利用できるような施設づくり	地域支援課	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中での貸館運営であったが、利用者数の実績値が目標値を上回ることができた。</p> <p>交流センターのWiFi環境整備にあたり、予算流用等により工事費を確保したため、目標値を上回る整備ができた。</p>	<p>市民の自主的な活動や交流の場として、様々な団体(サークル)が快適に利用できるよう、地域交流センターの維持管理を行う。</p> <p>また、茶道、華道、囲碁、料理、語学、ボランティア、短歌、音楽、手芸、絵画、書道、バレエ、ダンス、スポーツ、工芸等多様な団体(サークル)の登録を円滑に行い、誰でも気軽に利用できる施設づくりを行う。</p>	363,587千円	513,526千円					
						<p>地域交流センター利用者数355,351人 地域交流センター登録団体684団体 Wi-Fi環境の整備6施設</p>	<p>地域交流センター利用者数470,000人 地域交流センター登録団体800団体 地域交流センターWi-Fi整備10施設</p>								

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価						
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指 標	総 合	課題	今後の取組		
誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進	多様な学びの実現	参加機会の拡充	1-(1)-イ	民間企業での生涯学習事業	民間企業等での生涯学習講座の実施促進	生涯学習推進課	つくば市出前講座について、民間企業及び研究機関において2回実施をすることができた。また、更なる利用促進を目指し、筑波研究学園都市交流協議会及びつくば市内工業団地に対するつくば市出前講座のPRとアンケートの実施の決定をすることができた(令和5年4月実施)。	民間企業等からの要望や意見を生涯学習推進課の事業に反映させながら、民間企業等での生涯学習講座の実施実績を伸ばしていく。	0千円	25千円							
							民間企業等での講座開催数2回 周知活動実施回数6回	民間企業等での講座開催回数5回									
			1-(1)-イ	オンラインによる生涯学習講座事業	ウェブを活用し、動画配信等による生涯学習講座の実施	生涯学習推進課	以下の事業で動画配信を実施した。 ・社会力コーディネーター養成講座 5回 ・家庭教育学級 58学級 ・社会教育講演会 2回 ・つくばちびっ子博士 1回	動画を活用して生涯学習講座を実施するという点については、定着が見られるため、令和5年度は生涯学習に関する講座等での動画の内容・本数の充実を図っていく。	93千円	442千円							
							配信動画の満足度は、最も動画視聴された事業である「つくばちびっ子博士」事業アンケートにおいて来年度も動画視聴コンテンツを「とても利用したい」と回答した割合で算出し、目標を達成することができた。	新規動画数13本 視聴動画の満足度80%									
			1-(1)-イ	地域交流センター活用事業	夜間・休日における学習機会の提供	地域支援課	冬の天体観測や歴史探訪、親子向け工作等の講座を休日に実施した。	平日昼間に就労している社会人や子育て中の方等も含め、より多くの方が参加しやすいよう、夜間や休日に実施する講座を設定することで、夜間休日における学習機会を提供する。	3,434千円	5,622千円							
							夜間休日の講座の開講6回	夜間休日の講座の開講12回									

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指標	総合	課題	今後の取組
誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進	多様な学びの実現	生涯学習の相談・情報の提供	1-(1)-ウ	生涯学習相談事業	オンライン等でも気軽にでき、地域の実情に応じた生涯学習相談の実施	生涯学習推進課	民間企業からつくば市の生涯学習サービスの活用に関する相談と民間企業のCSR活動を市民の生涯学習につなげる相談をそれぞれ1件ずつ受け、実現につなげることができた。 オンラインでの生涯学習に関する相談について、首都圏の2都市に関する調査を実施した。 また、つくば市と株式会社Bloom Actで実施されたオンライン相談システム「Rooms」の共同研究に参画し、令和5年1月から3月までオンライン相談の受付を行った。	令和4年度に引き続き、つくば市ホームページにおける生涯学習情報発信の見せ方のマイナーチェンジや、つくば市の広報誌等を活用した生涯学習相談の周知を実施する。また、生涯学習相談をオンラインでも受けるための環境整備にも取り組む。	0千円	0千円					
							相談数2件 ホームページ改修回数1回 他自治体への調査2回	相談数3回 調査研究3回							
			1-(1)-ウ	情報収集・発信事業	広報戦略課と連携し、生涯学習情報を一元的に収集し発信	生涯学習推進課	市民に今までよりわかりやすく情報を発信するため、つくば市生涯学習指導者登録の内容をリニューアルし、併せてホームページを改修した。 令和4年度から本格的に運用が開始されたスマートフォン向けアプリ「つくスマ」については、積極的に利用を生涯学習推進課所管事業全体で推進することができた。	つくば市報における生涯学習の一元的情報発信を実施するために計画を進めていく。 その他、引き続きつくば市ホームページの改修を通じた一元的情報発信の促進及び積極的な「つくスマ」アプリの活用を進めていく。	0千円	0千円					
							広報紙0回 ホームページ改修回数1回 つくスマ活用回数17回	広報紙を活用した新規情報発信1回 ホームページ改修回数1回 つくスマ活用回数20回							

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指 標	総 合	課題	今後の取組
誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進	誰一人取り残さない生涯学習	参加への障壁をなくす取組	1-(2)-ア	生涯学習ワンストップ対応事業	生涯学習講座における配慮事項を示した指針の作成 生涯学習情報のワンストップ提供	生涯学習推進課	市民に今までよりわかりやすく情報を発信するため、つくば市生涯学習指導者登録の内容をリニューアルし、併せてホームページを改修した。 生涯学習講座に関する配慮事項の指針について、国内の事例3件について調査を行い、今後の検討の参考とすることとした。	1-(1)-ウ「情報収集・発進事業」及び1-(2)-イ「障害者の生涯学習関連事業」と連動して、生涯学習に関する情報発信についてワンストップ化に引き続き努める。また、生涯学習講座における配慮事項については実際に実施した「障害者の生涯学習事業」で得られた気づきや学びを記録し、ノウハウを蓄積していく。	0千円	0千円					
							ホームページ改修回数1回 他自治体への調査3回	ホームページ改修回数1回 障害者の生涯学習に関する記録作成1回							
			1-(2)-ア	広報力向上事業	職員向け広報セミナーの実施 広報事業へのアドバイスの実施	広報戦略課	今年度も新型コロナウイルス感染症に配慮し、対面型(会場参加)と動画配信型(Zoom配信、後日動画配信)を選択できるように工夫し、職員一人一人の業務形態に合わせたセミナーを実施した。 また、ブランドイメージの統一を図るため、年間を通じて各課が制作する広報物等のデザインチェックや、各政策・事業の動画撮影及び配信の支援を実施した。	職員一人一人の広報力向上を目的として、職員向け広報力向上セミナーを年2回以上実施する。開催方法については、昨年に引き続き対面型と動画配信型を併用する。 また、年間を通じて各課が作成するチラシやポスター等の広報物のデザインチェックや、動画配信に係る撮影やその支援を随時行う。	0千円	12千円					
						セミナー参加者259人	セミナー参加者150人								
			1-(2)-ア	外国人市民向け情報発信・講座事業	外国語広報誌等の外国人市民向け広報の拡充 外国人市民向け講座(日本語講座)の実施	国際都市推進課	多言語ホームページの発信において、目標値を大幅に上回る発信ができた。日本語講座について、2020年度に開始したオンライン講座(大人)と、感染症対策がなされた対面講座(子ども)の両方を取り入れて実施することができた。	市が発行する文書や冊子等の翻訳 8か国語の外国語広報紙を発行 市ホームページにおける4言語での情報発信 外国人市民に向けた日本語学習支援(大人対象:日本語講座をレベル別に昼・夜コースで開催) (外国にルーツを持つ子ども対象:プレスクール・プレクラス、子ども日本語勉強会、就学・進学支援を開催)	3,837千円	6,462千円					
						外国語広報紙発行回数4回 ホームページでの多言語情報発信回数252回 大人向け日本語講座の受講者数214人 子ども日本語勉強会の登録者数22人	外国語広報紙発行回数4回 ホームページでの多言語情報発信回数156回 大人向け日本語講座の受講者数240人 子ども日本語勉強会の登録者数30人								

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指標	総合	課題	今後の取組
誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進	誰一人取り残さない生涯学習	主体的に活動に参加できる取組	1-(2)-イ	障害者の生涯学習関連事業	障害者が自ら生涯学習を楽しめる講座の実施と生涯学習に取り組む障害者への支援体制の構築	生涯学習推進課	令和4年度は2回の事業を展開した。 【風船バレー教室】 障害者自身が「みんなでやってみよう」を挙げ、どれにするか選択し、事前準備や当日運営にも参画するつくば市と福祉型専攻科シヤンティつくば間の共同事業として実証的に実施した。当日は3つの団体が集まって実施し、参加者からは普段触れ合うことのない人たちと一緒に取り組むことができたこと等について高い評価を受けた。 【障害者のための生涯学習講座】 障害者の生涯学習を進めていく上での前提となる障害者自身やその障害者を支える周囲の社会状況の理解を深めるため、「きょうだい児」をテーマとした講演会を実施した。	令和5年度も「障害者の自発性を取り入れる」という観点を持ち、それを令和4年度より深めていくことを目的とし、市内の障害者教育機関と協働した障害者のための生涯学習講座又は体験活動を開催する。	99千円	388千円					
			1-(2)-イ	男女共同参画啓発事業	男女共同参画意識の向上を図りながら、能力や行動力を高めるセミナーの開催	男女共同参画室	防災、女性のエンパワーメント、健康、性的マイノリティ等をテーマに計12回実施し、男女共同参画に対する理解を深め、必要な知識やスキルを学ぶ機会を提供することができた。	男女共同参画に関するセミナーの開催 仕事と家庭の両立支援をはじめ、再就職支援やキャリアアップ講座など、学習機会の充実を図る。	7,752千円	7,671千円					
			1-(2)-イ	障害者スポーツ推進事業	障害者スポーツ人材の育成を目指し、スポーツイベントの実施、人材の育成、体制の構築	スポーツ振興課	令和4年度はこれまでと形を変え「つくば市障害者スポーツ推進プランフォーラム」として、ディスカッション形式で、障害者スポーツサポーター養成講座を実施した。障害者支援施設やスポーツ施設の職員や相談支援専門員など、スポーツや障害者に係る方が参加し、課題の解決に向けた話し合いを行うことができた。 また、「スポーツフェスティバル&つくぱら」や障害者スポーツを体験できる教室などを開催し、障害者スポーツに触れる機会を提供することができた。	障害者が日常的にスポーツ・レクリエーションに取り組むことができるよう、サポート体制を強化するため、障害者のスポーツ支援に必要な知識を得るための講座を開催する。 また、スポーツフェスティバル内で障害者スポーツを体験するコーナーを設置したり、障害者スポーツを体験できる教室を開催するなど、障害者スポーツに親しむ機会を設ける。	426千円	1,275千円					
			1-(2)-イ	生涯学習関連事業(障害のある人や支援者対象)	チャレンジアートフェスティバル、おひさまサンサン生き生きまつり等の開催、奉仕員養成講座の開催	障害者地域支援室	チャレンジアートフェスティバルは、三年振りに舞台発表を実施することができた。県庁展や市役所展を開催することにより、一般市民に対する事業周知を行った。おひさまサンサン生き生きまつりは中止としたが、今後の実施について高齢者及び障害者団体からの意見を伺った。奉仕員養成講座事業は、参加者へ感染防止対策をとっていたり、日程を調整するなど、参加者の不安軽減に努めた。	チャレンジアートフェスティバルは、作品展と舞台発表を実施する。加えて、茨城県庁やつくば市役所庁舎内での巡回展示による、一般市民への広報は引き続き取り組む。 おひさまサンサン生き生きまつりは、障害者と高齢者交流による社会参加を目的として開催予定としている。 令和5年度の奉仕員養成講座は、年間に手話奉仕員養成講座入門・基礎コースとも各30回、要約筆記・音訳・点訳奉仕員養成講座各10回実施する。奉仕員を養成することにより聴覚障害者等に対する日常生活に支援を図り、社会参加に寄与する。	6,213千円	12,331千円					
						開催回数2回 講座参加者の満足度100%	講座参加者数20名 講座参加者の満足度90%								
						講座の開催数1回 講座の参加延べ人数10人 障スポサポーター登録者数4人	講座・教室の数2回 講座・教室の参加延べ人数25人								
						チャレンジアートフェスティバルへ参加者数2,053人 奉仕員養成講座受講者数56人	チャレンジアートフェスティバル2,200人 おひさまサンサン生き生きまつり700人 奉仕員養成講座75人								

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指標	総合	課題	今後の取組
学びの力をいかすことができる生涯学習の推進	地域で学び合う生涯学習	地域で学びきっかけ作り	2-(1)-ア	つくば人間学講座	市民との協働講座(人間学講座)の実施	生涯学習推進課	市民と協働して組織する「つくば人間学講座実行委員会」にて、講座内容を決定し、以下の4講座を開催した。 ・人工知能(AI)と人間はどうか 2022(2022/7/30@市民ホールやたべ) ・ある日、アートの偉大な力に気づいた人間の話(2022/9/10@アルスホール) ・歌舞伎は日本のオペレッタお能は日本のオペラです パート12(2022/11/26@つくば市役所) ・ツボを知る 心と体の手当てで免疫力UP↑(2023/1/28@アルスホール) 開催数4回 参加者数111人	令和4年度に引き続き、市民との協働で組織する実行委員会をとおり、市民に多面的な学びの場を提供していく。 【実施テーマ(予定)】発達障害、農業、美容、天気 参加者数200人 満足度80%	290千円	375千円					
			2-(1)-ア	文化財展示講座事業	文化財展示施設等での展示、各種文化財・郷土史に関する講座の開設	文化財課	・古文書講座を7~8月で再開することができ、26名の参加者があり、初心者を含めて古文書や地域の歴史に親しむことができた。 ・巡回企画展「鎌倉殿の御家人『八田知家』とつくば」を9月~2月で開催し、企画展約2,500人、講演会82人、体験講座22人(市内在住・在学・在勤者)の来場者・参加者を得た。 ・10月に「大河ドラマ『鎌倉殿の13人』スペシャルトークinつくば」を実施し、市内外から約1,000名の来場者を得た。 ・いずれもアンケートの満足度等も高く、実施によって歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育成することができた。 企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催日数2日 巡回企画展参加人数2,469人	・10月~2月にかけて巡回企画展を、関連事業として11月に体験講座を、12月に講演会を実施する。 ・市域に伝わる江戸時代の古文書を題材にした古文書講座を、難易度に分け、8~9月・1~2月にそれぞれ全4回実施する。 ・「ちびっ子博士」のイベント開催時期に合わせて、夏休みに市内小学生を対象とした勾玉作り講座を実施する。 企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催日数2日 巡回企画展参加人数1,500人	8,558千円	4,318千円					
			2-(1)-ア	調査・研究支援事業	筑波大学を始めとするつくば市域における図書館との連携、小・中・義務教育学校で実施するブックトーク等による読書促進	中央図書館	つくば市域に所在する各機関の図書館それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図るため、つくば市域図書館連携協議会において協議を行った。 学校訪問ブックトーク、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)、社会科見学、職場体験学習受け入れ、学校図書館司書教諭及び司書教諭補助員等の研修、レファレンスについては、目標の達成に至らなかった。 つくば市域図書館連携協議会の開催2回 学校訪問ブックトーク29校 団体貸出図書冊数8,458冊 社会科見学等の図書館見学受入回数6回 職場体験学習受入人数16人 学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数49人 ファーストブック講座参加人数58人 レファレンス受付件数1,458件	つくば市域に所在する各機関の図書館それぞれの情報、資源および活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図るため、つくば市域図書館連携協議会において協議を行う。 学校図書館ブックトーク、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)、社会科見学・職場体験学習受け入れ、司書教諭補助員および学校司書等への研修実施といった学校図書館支援や、ファーストブック講座などのイベントを実施する。 参考資料を充実させるとともに、電話やメール等による調査・研究の質問を受け付け、専門職員が資料情報を提供する。 つくば市域連携協議会の開催2回 学校訪問ブックトーク40校 団体貸出冊数15,000冊 社会科見学等の図書館見学受入回数10回 職場体験学習受入人数40人 学校司書等の研修参加人数55人 ファーストブック講座参加人数40人 レファレンス受付件数1,800件	1,069千円	1,288千円					

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指 標	総 合	課題	今後の取組
学びの力をいかすことができる生涯学習の推進	地域で学び合う生涯学習	地域で学びきっかけ作り	2-(1)-ア	多文化共生推進事業	外国人市民との交流事業の開催及び民間団体実施事業の周知協力	国際都市推進課	つくば市国際交流協会主催の国際理解講座「世界お茶のみ話」は予定通り対面で実行することができた。日中国交正常化50周年にあたり、友好都市である中国・深圳市の高校生とつくば市の高校生によるオンライン交流を実施したほか、フランス・グルノーブル日本語補習校とつくば市の小学生親子によるオンライン交流を実施するなど姉妹都市・友好都市と交流を深めることができた。	・国籍を超えた市民交流を推進するためのイベント等の開催 ・外国人市民が日本語を話したり、日本文化に触れることができるイベントの開催支援	95千円	866千円					
							世界お茶のみ話開催数12回 民間団体・事業者等と連携事業数3回 姉妹都市等との連携イベント数5回	国際理解講座開催数40回 世界お茶のみ話開催数12回 民間団体・事業者等との連携事業数2事業							
			2-(1)-ア	スポーツ教室事業	スポーツ教室の充実	スポーツ振興課	【開催した教室】 バドミントン、トレイルラン、心と体をほぐすヨガ、スラックライン、体幹ムーブメント、ランニング、車いすに座ってできるスポーツ体験、スプリント、子どもの体験教室(低学年)、子どものスポーツ体験教室(高学年) 実績は目標値には達しなかったものの、感染対策を講じつつ各種教室を開催することができた。	市民のスポーツ活動の促進を図るため、さまざまな種類のスポーツ教室を開催し、スポーツの楽しさや健康維持の手法を学ぶ機会やスポーツを始める機会を提供する。	1,614千円	1,519千円					
							教室の開催数10回 教室の参加者数(延べ人数)589人	教室の開催数6回 教室の参加延べ人数670人							
			2-(1)-ア	地域交流センター講座等事業	地域交流センターでの学級・講座の充実	地域支援課	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中での講座実施であったが、参加者がやや増加したこともあり、目標値を上回ることができた。	利用者アンケートや講座受講者に対するアンケート結果を踏まえ、市民ニーズに対応した講座を実施する。	3,434千円	5,622千円					
						年間講座数108回	年間講座数102回								
			2-(1)-ア	筑波山地域ジオパーク推進事業	筑波山地域ジオパークについての講座・体験学習の実施	ジオパーク室	令和4年度は、筑波山地域ジオパークとしても、生涯学習を目的とした企画(47回)、部会、シンポジウム、ジオガイドのスキルアップ講座を実施するなど、地域を学ぶきっかけとなる機会を幅広く創出することができた。 また、筑波山地域ジオパークでは、教育・学術部会で実施可能な生涯学習講座の整理をはじめた。	令和5年度も引き続き、ジオパークを活用した生涯学習講座を実施する。 また、筑波山地域ジオパークとして教育・学術部会を中心に、生涯学習講座の整理を進める。	6,059千円	15,309千円					
						市民向け講座等開催数3回 部会開催数11回 ジオガイド講座開催数4回 学術シンポジウム開催数1回	市民向け講座等開催数5回 部会開催数9回 ジオガイド講座開催数3回 学術シンポジウム開催数1回								

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指標	総合	課題	今後の取組
学びの力をいかすことができる生涯学習の推進	地域で学び合う生涯学習	地域で学びつづける仕組みづくり	2-(1)-イ	生涯学習活動相談事業	生涯学習活動の継続支援	生涯学習推進課	令和4年度は、以下の2つの新規出前講座を開講することができた。 ○人権・同和問題について(地域改善対策室) ○今日からはじめる!基本的な感染症予防対策!(感染症対策室) また、更なる利用促進を目指し、筑波研究学園都市交流協議会及びつくば市内工業団地に対するつくば市出前講座のPRとアンケートの実施の決定をすることができた(令和5年4月実施)。 出前講座新規講座2講座 周知活動回数6回	生涯学習活動の継続を支援する環境として、令和5年度中に新設校であるつくば市研究学園小学校及び香取台小学校の特別教室(例:図工室)の一部を市民に対して開放する事業を開始させる。 また、1-(1)-ウ「生涯学習相談事業」、「情報収集・発信事業」と連動させた事業展開を行い、周知活動や市民が相談しやすい環境を創出していくことに引き続き取り組む。 相談数3回 特別教室開放学校数2校	0千円	0千円					
			2-(1)-イ	家庭教育学級支援事業	家庭教育学級への指導・助言、講演会等の開催	生涯学習推進課	家庭教育学級については、多くの講座を動画配信で実施することで、新型コロナウイルスの影響下であっても事業規模を確保することができた。社会教育講演会については、下記の内容で2回実施した。 ①10月22日「いじめの予防最前線～大人も子どもと共に学びましょう～」 参加者38人 ②3月4日「その瞬間生き残れるか。」 参加者35人 家庭教育セミナーについては、学校にすべての保護者が集まる行事を利用して家庭教育のヒントとなる話を社会教育指導員より伝える機会として実施した。 家庭教育学級4,917人 社会教育講演会2回 家庭教育セミナー60回	家庭教育学級、家庭教育セミナーを継続して開催する。学級の運営について、社会教育指導員が、指導・助言を行い、講演会や講習会を開催する。 家庭教育学級5,000人 社会教育講演会2回 家庭教育セミナー60回	1,628千円	3,322千円					
			2-(1)-イ	生涯学習指導者情報提供事業	生涯学習情報(OB人材、指導者情報)の整備・活用	生涯学習推進課	つくば市指導者登録制度について、指導者の登録カテゴリを市民が利用しやすいように再整理を行う等、制度のリニューアルを行い、「学びのつくバンク」という愛称を設定した。 情報提供回数は昨年度より大きく増加し、また、上記のリニューアルに併せてホームページの改修も行うことができた。 周知活動回数3回 情報提供数37回 ホームページ改修回数1回	令和4年度に実施した、指導者リストの更新や指導カテゴリの改善等の環境整備を活かし、令和5年度は積極的な情報発信に努め、情報提供数・登録講師数ともに伸ばしていくことを目指す。 情報提供数40回 登録講師増加数20人	0千円	96千円					
			2-(1)-イ	学校施設開放事業	学校施設開放(体育館・グラウンドなど)の推進	教育施設課	小中学校、義務教育学校の学校体育施設の開放を行った。 新たに中学校1校、義務教育学校の1施設を開放した。 また、重複申請を行っていると思われる団体について、利用状況と申請書との整合性の確認を行った。 小学校施設開放事業95% 中学校施設開放事業98% 義務教育学校施設開放事業100%	小中学校、義務教育学校の学校体育施設の開放を行う。 新たに義務教育学校1校を開放する。 昨年度課題となった、利用団体決定のための調整における個人情報交換によるトラブル防止や、追加申請の公平な受付等に留意しつつ事業を運営する。 小学校施設稼働率90% 中学校施設稼働率95% 義務教育学校施設稼働率95%	24千円	88千円					

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指 標	総 合	課題	今後の取組
学びの力をいかすことができる生涯学習の推進	地域で学び合う生涯学習	地域で学びつづける仕組みづくり	2-(1)-イ	文化財サポーター事業	文化財の解説ボランティアの育成	文化財課	<p>・10月～12月に谷田部・桜地区の解説を目標とした第4回解説ボランティア養成講座(全6回)を開催、修了者8名のうち新規登録者8名で、計31名となった。</p> <p>・大河ドラマトークショーのイベント補助や、学校授業における展示施設の解説をボランティア登録者へ依頼し、協力を得た。</p> <p>・ボランティア登録者を対象とした臨時講座を2回、意見交換会を1回開催した。</p> <p>・年間を通じて、民間のボランティア団体「常陸小田城親衛隊の会」と連携し、小田城跡での解説や会員への研修等を実施。市の事業に市民が参加し、文化財への理解と愛着を深める機会とすることができた。</p>	<p>・今年度は新規のボランティア養成講座は休止し、現在のボランティア登録者の知見向上を目指すための臨時講座を開講し、展示施設や文化財の解説のほか、意見交換、学校支援業務への協力、イベント時の補助、展示作成時の補助などを実施する。</p> <p>・小田城跡のボランティア団体である常陸小田城親衛隊の会についても、知見向上のための定期的に研修会を実施する。</p>	211千円	237千円					
			2-(1)-イ	つくば市OB人材活動支援事業	生涯学習情報(OB人材、指導者情報)の整備・活用	企画経営課	<p>依然として新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている中ではあるが、パンフレット・便覧の配布やホームページ等における周知を継続的に実施したことに加え、令和5年度以降のV字回復弾みをつけるため、高齢福祉課発行のシニア向け冊子へも掲載することで、事業を広く周知した。</p>	<p>V字回復弾みをつけるため、昨年度に実施した周知活動の流れを止めることなく、継続した周知活動を図るとともに、より効果的な事業となるよう庁内横断的な連携の方策を検討する。</p>	9千円	9千円					
			2-(1)-イ	市民活動団体支援事業	市民活動センターでの活動相談、アイラブつくばまちづくり補助金事業等市民活動団体の活動支援	市民協働課	<p>市民活動センターが市の直営となり、市民活動課と連携を取りながら、相談事業等市民活動団体支援のための様々な業務に取り組むことができた。</p> <p>また、アイラブつくばまちづくり寄附基金を有効活用し、市民活動団体等が自主的に企画し提案した事業に補助金を交付するとともに、担当部署の協力により事業の自立に向けた支援を行うことができた。</p>	<p>市民活動団体等の取組を応援し、相談を受けるとともに、市民団体の新たな活動を支援する。</p> <p>アイラブつくばまちづくり寄附基金を活用し、個性豊かで活力あるまちづくりの実現を目指すため、市民主体の公益的な活動を支援する。</p>	4,600千円	11,264千円					
						文化財ボランティア登録人数31人	意見交換会開催回数4回 研修会開催回数2回								
						市民活動センター利用者数2,265人 市民活動センター相談件数177件 アイラブつくばまちづくり補助金採択事業数30件	市民活動センター利用者数7,000人 市民活動センター相談件数200件 アイラブつくばまちづくり補助金採択事業数35件								

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指標	総合	課題	今後の取組
学びの力をいかすことができる生涯学習の推進	地域で学び合う生涯学習	地域で学びつづける仕組みづくり	2-(1)-イ	文化団体等 育成支援事業	文化協会の 支援	文化芸術課	市民ホールや交流センター、美術館など、つくば市内を拠点として事業を展開した。 新型コロナウイルス感染症対策を講じて、予定していた全ての事業を実施し、文化芸術活動を推進することができた。 また、本年度新たな試みとして参加・体験型公演としてレクチャーコンサートを実施し、文化芸術に触れる機会の拡充を図ることができた。 主催事業の実施15回	市民の文化活動の活性化を目指し、つくば市文化協会に対する事業費補助として補助金を交付し、主体的な活動を促進するよう支援する。 事業実施の際には、新型コロナウイルス感染症対策や、会計処理について指導を行う。 主催事業の実施17事業	1,200千円	1,200千円					
			2-(1)-イ	(公財)つくば文化振興財団支援事業	文化振興財団の支援	文化芸術課	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、ノバホールやつくばカピオ、市民ホールなどを会場として公演事業を実施したほか、美術館での展覧会、小中学生を対象としたアウトリーチ、文化芸術支援なども並行して展開し、計画された事業を全て実施することができた。 文化芸術公演における入場率について、令和3年度が56.8%に対し、令和4年度は70.7%と大幅に上回り、市民ニーズが高く、予想以上の集客が図れた。 文化芸術振興事業の実施20事業	公益財団法人つくば文化振興財団への指導・助言のほか、財政的支援として行政補完型運営補助金の交付を行う。 また、同財団と協定を締結し、共同主催により市内の文化施設等で音楽・演劇・芸能・美術等の幅広いジャンルの文化芸術振興事業を実施する。 文化芸術公演事業入場率80%	49,981千円	55,000千円					
			2-(1)-イ	高齢者生きがい活動支援事業	高齢者の社会活動支援	高齢福祉課	【各種イベントやシルバークラブ活動への支援】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント開催中止や事業規模縮小となったが、内容変更等対策を講じ、高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会参加の促進に寄与した。 また、129の単位シルバークラブを含むシルバークラブ連合会に補助金を交付することで、その活動を支援した。 いばらきねんりんスポーツ大会は5月に地区予選会、6月に市大会を実施した。 【シルバー人材センター】 新規入会者64名 退会者99名 市からは、施設の夜間当番/草刈り/清掃等を依頼している。 補助金を交付することにより、シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進等に寄与できた。 シルバークラブ会員数6,113人 単位シルバークラブ数129団体 契約件数2,858件 参加者数536人	シルバークラブ大会:役員功労者表彰、感謝状贈呈、講演会等を実施 シルバークラブ育成支援:年間を通じて、シルバークラブ連合会の支援を社会福祉協議会に委託し行う。 高齢者労働能力活用事業費補助事業:補助金を交付し、公益社団法人つくば市シルバー人材センターの円滑な運営を支援する。 茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会の予選会として市大会を開催する。 種目:グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、バタンク、輪投げ シルバークラブ会員数6,418人 単位シルバークラブ数135団体 契約件数4,400件 参加者数610人	41,844千円	42,395千円					

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点		事業費予算		進捗状況の点検・評価				
			No.	事業名	事業概要	担当課	(参考)令和4年度 事業の成果・ 達成状況	令和5年度 事業計画	令和4年度決算 (単位:千円)	令和5年度予算 (単位:千円)	実施 状況	指 標	総 合	課題	今後の取組
学びの力をいかにすることができる生涯学習の推進	「社会力」を持った人材の育成	実践できる人材の育成	2-(2)	「社会力」人材育成事業	「社会力」を持った人材を育成するために、連続講座など「社会力」を育成する講座を実施	生涯学習推進課	社会力に関する講座の実施2年度目として、社会力をいかして活躍するロールモデルとしての「社会力コーディネーター」の存在にスポットを当て、市内外における先進事例を実際に運営する人物(=社会力コーディネーター)を講師として招き、参加者への学びと動機付けを5回の講座として実施することができた(参加者数198人)。 令和3年度の講座参加者が56人であったことから、社会力という考え方がつくば市内で広がり、興味を持つ人が増えてきたと考えることができる。 講座実施回数5回 講座満足度92%	令和5年度は社会力講座【実践編】として講座を年間で5回実施する。 「社会力」を発揮して地域で活躍する団体の活動に体験参加することをメインの内容に据え、これから地域で活躍したいと思っている市民等が継続して活動していくきっかけ作りを行っていく。 体験実習参加者数15名 「社会力」を活かした今後の活動意向80%	650千円	650千円					
			2-(2)	地区リーダー勉強会事業	地区リーダー勉強会の開催	市民協働課	地区リーダー勉強会については、令和2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響から中止とした。令和4年度は、講演のテーマを「巨大地震と豪雨災害への備え」として、災害のリスクについて認識し、自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」に関する内容を市公式Youtubeチャンネルにて配信した。 配信形式で実施したことにより、参加者(視聴者)が大幅に増え、より多くの区長等に参加(視聴)していただくことができた。 人材づくりイベントの参加者数774人	地域のリーダーである区長の担い手不足など、区会における近年の課題をテーマにした勉強会(講演会等)を開催して、その解決策を検討していく。8月又は9月に開催を計画している。 人材づくりイベントの参加者数600視聴数	330千円	581千円					
			2-(2)	地域まちづくり支援事業	まちづくりに関する講座の実施・専門家の派遣	都市計画課	【まちづくりに関する講座の実施】 新型コロナウイルス感染症の影響も懸念されたが、谷田部地区を対象とした街歩き・グループワークにより多くの方々に学びの機会を提供することができた。 【専門家の派遣】 地域まちづくり推進グループ及び地域まちづくり推進団体からあった申請すべてに対し適切に専門家を派遣することができた。 都市計画講座1回 まちづくり見学会1回 専門家の派遣5回	【都市計画講座の実施】 市民向けに、まちづくりへの関心と理解を深めることを目的として、都市計画の制度やつくば市の現状を紹介し、現地見学会を行う講座を開催する。 【まちづくり見学会の実施】 地域まちづくりグループ及び推進団体を対象として、今後のまちづくりの参考となるよう先進地を訪問し、現地見学会を行う講座を開催する。 【専門家の派遣】 地域住民などで構成される地域まちづくりグループや地域まちづくり推進団体等が活動を行う上で、組織の運営に関すること、まちの課題や将来像に関すること等について指導や助言等を求めてきた際に、地域まちづくり専門家の派遣を行う。 都市計画講座1回 まちづくり見学会1回 専門家の派遣8回	180千円	360千円					